

帯域幅を大量に消費するアプリケーションに対応した 802.11n の展開

概要

802.11n ドラフト 2.0 標準を利用できるようになった現在、企業は、この次世代ワイヤレステクノロジーが自社のネットワークにもたらす利点について調査を開始しています。802.11n によってスループット、リンクの信頼性、および予測可能性の分野でパフォーマンスが全般的に向上しますが、企業が 802.11n のすべての機能を利用できるようになるには、適切なワイヤレス インフラストラクチャが不可欠です。

802.11n 標準はさまざまな企業にとって有益ですが、802.11n の強化されたスループットと信頼性を利用することが特に適した環境があります。

帯域幅を大量に消費する環境の課題

多くの企業は、その業種や業態にかかわらず、帯域幅を大量に消費するアプリケーションに依存しています。そのようなアプリケーションは、電子メールや文書処理などの一般的に使用されるアプリケーションよりも多くのスループットと帯域幅を必要とします。たとえば、医療環境では、医師が患者の大切な診断情報をただちに受け取れるように、デジタル画像ファイルがワイヤレス ネットワークを経由して伝送されます。同様に、エンジニアリング環境では、エンジニアが共同で設計を進める際、サイズの大きい CAD ファイルがワイヤレス ネットワークを介して共有されることがよくあります。そのようなアプリケーションをより効果的に実行できる環境は、今日の平均的なワイヤレス ネットワーク以上の帯域幅とスループットを備えるネットワークです。

帯域幅を大量に消費するアプリケーションの場合、企業は次のような課題に対処する必要があります。

- **重要情報のタイムリーな提供。**医療環境で使用されているアプリケーションなどの場合は、適時性が要求される情報を、医師、看護師、病院職員に対して、すばやく、信頼性の高い方法で伝達する必要があります。
- **ネットワーク パフォーマンスに影響を与えずに、サイズの大きいファイルを送受信する能力。**サイズの大きいファイルが定期的を送受信されるエンジニアリング施設などの環境の場合は、ファイルの送受信によってネットワーク パフォーマンスが低下することがないようにする必要があります。
- **従業員の生産性の維持。**帯域幅を大量に消費するアプリケーションが日常的に使用されるすべての環境では、それらのアプリケーションがワイヤレス ネットワークを介して円滑に実行され、ユーザが必要な情報に常にアクセスでき、その生産性を維持できるようにすることが重要です。

帯域幅を大量に消費する環境が抱える課題に 802.11n および Cisco Unified Wireless Network で対処

802.11n は、帯域幅を大量に消費するアプリケーションを使用する企業が抱える課題に対処するための理想的な手段です。802.11n は、現世代のワイヤレス ネットワークと比較して 5 倍のパフォーマンスを持ち、各ユーザにより多くの帯域幅を提供できます。このことは、クライアントの観点から見ると、802.11g で 1 Mbps のパフォーマンスを得ていたほぼすべてのユーザが、802.11n では 5 Mbps のパフォーマンスを得ることができることを意味します。

企業は、将来の新しいテクノロジーに適応するために必要なモジュール性と柔軟性を提供する 802.11n 対応のソリューションを、Cisco® Unified Wireless Network によって今すぐ導入できます。Cisco Unified Wireless Network には、Cisco Aironet® 1250 シリーズ アクセス ポイントが含まれます。これは、802.11n ドラフト 2.0 標準への準拠を証明するための Wi-Fi Alliance のテスト ベッドで採用されている唯一の市販アクセス ポイントです。また、シスコは、このアクセス ポイントのワイヤレス インフラストラクチャと Intel クライアント間の相互運用性テストを実施して、802.11n ワイヤレス ネットワークで最適なパフォーマンスが得られることを確認しました。これにより、企業のインフラストラクチャ投資の保護が促進され、ワイヤレス ネットワークにおける「将来性への対応」が保証されます。

まとめ

802.11n は、次世代のワイヤレス ネットワーク、中でも帯域幅を大量に消費するアプリケーションを使用する環境にとって、数多くの利点を備えています。病院やエンジニアリング施設などの環境では、802.11n ドラフト 2.0 標準に基づくシスコの次世代ワイヤレス テクノロジーを展開することによって、802.11n の優れたパフォーマンスを今すぐ利用できます。Cisco Unified Wireless Network は、モジュール性と柔軟性を備えており、将来への投資を保護すると同時に、今日の帯域幅を大量に消費する環境で必要とされるインフラストラクチャを提供します。

©2007 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0704R)

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社
〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>
お問い合わせ先 (シスコ コンタクト センター)
<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

お問い合わせ先